

これまでに、友達を助けたり、友達に助けってもらったりしたことはあるか。その時の気持ちも振り返りましょう。

- ・友達に勉強を教えたことがあります。役に立ててよかったです。
- ・困っていたら友達が声をかけてくれました。その時、友達がいてよかったと思いました。

実態

- 児童の8割が道德の授業を好んでいる。
- 遊ぶときに友達がいてよかったと思う児童が多い
- 助け合うことのよさや大切さを実感している児童が少ない。

ねらい

★ゆっきとやっちの気持ちや行動について考えるを通して、友達がいることのよさに気づき、友達と仲よく、助け合おうとする道德的心情を育てる。

工夫

- ・教材提示
→TVを見るか教科書を見るか自己調整
- ・発問
→問い返して本音を引き出す。
- ・話し合い
→ペア、グループ、クラス、目的に応じて活用

2年 友達と助け合う (B 友情、信頼)

ゆっきとやっち



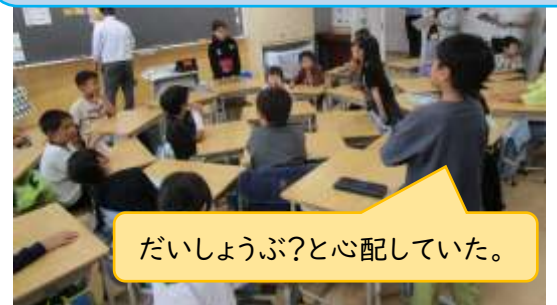
ゆっきとやっちは、どんなことを言いながら二人で並んで飛んでいったらうか。

ゆっきありがとう。助けてくれて。



友達だから当然だよ。

やっちに「ぼくのことはいいいからさきに行けよ」と言われたゆっきは、どんな気持ちだったか



だいしょうぶ?と心配していた。

協議会を通して学んだこと

- ・話し合い……クラストークでは、みんなで向かい合っていて、顔を見会いながら伝えたり聞いたりすることができていた。
- ・役割演技…役割演技を見ていた児童は、やっていた人のすてきなところを発表していて、心情への考えが深まっていた。
- ・問い返し…的確な問い返しをすることで、子供の考えがより具体的になり深まっていた。戸惑ったり、止まったりした児童もいたがフォローして、思いや考えを引き出すことができていた。